

28 直轄砂防事業の促進について

(国土交通省関係)

要望内容

広島西部山系、安芸南部山系及び瀬野川水系直轄砂防事業の促進

(要 旨)

本市域の多くを占める広島西部山系及び安芸南部山系では、急峻な地形と崩壊を起こしやすい風化した花崗岩等が広く分布し、過去から幾度も甚大な土砂災害が発生しています。

このため、国におかれては、平成11年6月の豪雨災害を契機に、平成13年度より「広島西部山系」、平成30年度より「安芸南部山系」を対象として砂防事業を推進していただいています。

こうした中、近年では、自然災害が激甚化・頻発化しており、土石流による局所的な被害に加え、大量の土砂流出を受けた河川が埋塞することにより、土砂・洪水氾濫が広範囲で発生し、住宅地だけではなく、主要交通インフラや地域の活力・雇用を支える産業に甚大な被害が生じています。

つきましては、流域治水の趣旨の下、防災・減災、国土強靱化を推進し、地域の安全・安心を確保するため、再度災害防止のみならず、事前防災として令和8年度に新規事業化された「瀬野川水系」を対象とした土砂・洪水氾濫対策を含む直轄砂防事業の一層の促進について、格別の御配慮をお願いいたします。

(参 考)

事業概要

事業主体		国（国土交通省）		
事業名		広島西部山系直轄砂防事業	安芸南部山系直轄砂防事業	瀬野川水系直轄砂防事業
事業期間		平成 13 年度～	平成 30 年度～	令和 8 年度～
事業内容		土砂災害防止施設の整備		
関係市町		広島市、廿日市市、大竹市	広島市、呉市、坂町	広島市
事業費	令和 7 年度まで	約 1,051 億円	約 218 億円	—
	令和 8 年度	約 27 億円	約 17 億円	約 4 億円

位置図

